

## かずさエフエム株式会社 放送番組審議会議事録

1. 日 時 令和元年 11 月 26 日(火) 午後 5 時 00 分から午後 6 時 00 分

2. 場 所 かずさエフエム(株)会議室・田園

### 3. 委員の出席

委員総数 7 名

出席委員数 4 名

出席委員の氏名

委員長 (議長) : 藤波陽四郎

副委員長 : 早川令子

委員 : 安部吉司、村重正明

欠席委員の氏名 : 山口芳一、白石久雄、宮嶋亮二、

放送事業者側出席者

代表取締役社長 石村比呂美

統括部長 松井 隆幸

制作技術 兼平 健一

### 4. 議題

議事事項 (1) 業務経過、業務計画について

(2) 番組内容の審議について

### 5. 議事の概要

議事事項 (1) 業務経過、業務計画について 石村社長より報告

新番組、リニューアルした番組、電話レポート、司会派遣、プレゼント等

(2) 番組審議について

対象番組名 : かずさ四市ライフライン情報

放送日 : 2019 年 9 月 14 日放送分

## 6. 審議内容

### 審議委員からの意見

#### 評価できるところ

- ・地域住民が求めているグッドタイミングな放送だった
- ・各市の担当者の生の声は臨場感があり聞き耳をたてた
- ・さすが地元のコミュニティ放送局
- ・詳細な情報をわかりやすく適切に放送しており多くの市民が頼りにしたのではないかと思った
- ・放送が大変役立ったという声を多く耳にした
- ・行政の依頼に先駆けて、自ら情報発信をしたことに感謝します
- ・発電機燃料の不足等について行政と連携をしましょう
- ・かずさエフエムをもっと知ってもらうキャンペーンを実施しよう
- ・四市の状況が異なる中、聞き手がフォローし上手く聴きだしていた
- ・支援情報プラス今後の気象情報等注意すべきことを会話に織り交ぜている点など有益な情報発信となっていた
- ・局が被災しているにも関わらず、仮設スタジオから生の情報を出し続けたことは素晴らしい

#### 改善すべきところ

- ・問い合わせ電話番号を必ず伝えてほしいし、ゆっくりとそして復唱してほしい
- ・市防災担当の話し方が不明瞭な方もいたので工夫してほしい
- ・四市の登場順を冒頭で紹介してほしい
- ・代替輸送バスの発着駅名だけでなく〇〇口で等、詳細な情報を伝えて欲しかった
- ・BGM・オープニング曲等をもっと番組内容にふさわしい選曲をすべきだと感じた（ポップすぎる）
- ・各市との合間の楽曲は必要ないと思った

## 7. 措置内容

石村社長

- ・想像を超える被害が発生したこの度の自然災害においては、弊社として精いっぱい対応を致しました。  
台風直撃前夜からの泊まり込みと停電対策。  
それでも専用回線の不具合が発生し鹿野山送信所前「売店」での緊急対応となり、2週間近く鹿野山仮設スタジオからの災害対応「防災ラジオ」の放送となりました。  
停波せず放送が続けられたのは、グループ企業である、マザー牧場・鹿野山ゴルフクラブのバックアップと社員やパーソナリティ、関係者の意識の高さ（強い使命感）があつての結果でした。
- ・それなりの備えをしていましたが、被災して初めてわかることも多く、今となつては、かけがえのない経験を積ませていただいたと思っております。（が、できれば再度経験はしたくない・・・）
- ・番組については、瀬戸際に追い込まれての構成で問題も多々あるかと思いますが、とにかく少しでも多くの情報を的確に詳細に伝えることを第一に考えました。  
地名等は目標となる企業・商店名で。あつという間になくなるブルーシート配布等はその終了時間も伝え、ブルーシートは FM 小田原を通じて小田原市から運搬協力して配布等々、コミュニティ放送局としてできる限り地域に寄り添う放送を心がけてまいりました。
- ・四市エリアの難しさも痛感しました。とにかく情報量が多くそれを裁くことに終始し取材活動が全くできなかつたことが心残りです。
- ・今後の課題としては、  
「弊局の周知徹底と活用促進」「機材やマンパワーの更なる充実」  
「行政サイドと費用負担を含めた防災協定締結の結び直し」等が挙げられます。
- ・精神的にも肉体的にも余裕がなく駆け抜けた一ヶ月でしたが、リスナーの反応に救われながら、また日々頑張るスタッフの姿に感謝しながら過ごした日々。しっかり胸に刻んで生かしていきたいと思ひます。
- ・頂いたご意見をもとに、災害放送番組はじめ他の番組も地域に寄り添う更に良い番組に育てていきたいと考えておりますので今後とも忌憚のないご意見をお聞かせください。

以上をもって本審議会の全てを終了。 藤波議長が午後 6 時 00 分に閉会を宣言した。

以上